

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	第2回 近江八幡市子ども読書活動推進委員 会議		
開催日時	令和8年2月19日（木） 10:00～11:20		
開催場所	近江八幡市役所 特別会議室2		
出席者 会長◎ 副会長○	<p>出席者：11名 <子ども読書活動推進委員> ◎工藤 雅子 ○伊丹 稔 藤田 靖子 善住 晶子 山下 晶子 猪谷 真紀 奥村 幸子</p> <p><事務局> 万野 英夫 安達 智一 富永 祐加 磯井 健太郎</p>		
次回開催予定日	令和8年7月		
問い合わせ先	<p>所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 磯井 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス：045000@city.omihachiman.lg.jp</p>		
会議記録	発言記録・要約	要約した理由	

事務局	<p>1 開会</p> <p>ただ今より近江八幡市子ども読書活動推進委員会を開催します。私は事務局を担当いたします生涯学習課の磯井と申します。よろしくお願いいたします。皆様におかれましては、平素より、近江八幡市の子ども読書活動の推進にご尽力いただき、ありがとうございます。</p> <p>会に先立ち、生涯学習課課長補佐 万野がご挨拶申し上げます。</p>
生涯学習課長補佐	<p>(1) 挨拶</p> <p>皆様おはようございます。</p> <p>本日、子ども読書活動の推進委員会を開催するにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>平素より本市の教育行政にご理解ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。日頃は、子ども読書活動の充実に向けまして、様々な方面でご尽力いただきまして、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>さて今年度は、第3次の近江八幡市子ども読書活動推進計画の5年目標のうちの2年目でございます。各学校園での読書のみならず、市民全体にも研修会等を通して、子ども読書活動を進めてまいりました。</p> <p>本日の委員会では今年度の取組の振り返りをさせていただくとともに、来年度の取り組み検討を行っていきます。日ごろ子どもたちと関わってくださっております委員の皆さんのご意見をいただきながら、来年度の取組がより良いものになりますよう、本日の協議にご協力をお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、皆様には、近江八幡市の子どもたちが読書を通じて新しい世界に触れ、心を豊かに育むために、なお一層のお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>(2) 出席者確認</p> <p>続きまして、本日の出席者を確認いたします。本日の委員数は7名です。半数以上の出席ですので、近江八幡市子ども読書活動推進委員会設置要綱第6条第2項の規定により、本会議は成立しております。近江八幡市会議の公開に関する取扱要綱により、本会議は公開され、会議終了後近江八幡市ホームページに議事録が掲載されますことをご了承ください。また、会議内容を録音いたしますのでご了承ください。あわせて記録用に写真を撮影しますが、不都合な方はお申し出ください。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本委員会委員長の工藤様よりご挨拶をいただきます。</p>
委員長	<p>(3) 委員長挨拶</p> <p>みなさんもお存じのように、園や学校の教室などには必ず紙の本が置いてあります。それらの本は、どのようにして選ばれているのでしょうか。子どもたちが本と親しくなるためには、身近に良い本があること。幼ければ、読んでくれる親しい人がいること。少し大きくなったら、好きな本をいつでも読める環境があるということが必要だと思っています。幼いときに家庭や保育現場がそのような場であれば、子どもたちは本を面白いものだと思うようになるでしょう。本が楽しい、楽しい道づれになれば、子どもたちは自分で読みたいものを選び、読むようになると思います。そのためには、大人が子どもたちの本に関心を持つことが大切だと思います。</p> <p>今、学校では、毎日朝読書が持たれています。ある小学校に朝読書のボランティアに行っている方が、「最近、15分あった時間が10分に減らされた。10分だと正味7・8分になる。そうすると、本を選ぶことが大変で限られたものになる。しかも、毎週あったものが月2回になった。イベントがあるとそれも無くなってしまう。なかなか十分にはできない」と言っておられました。</p> <p>学校がまず学習を優先するということは重々分かっていますが、では、その代わりに先生方が機会を見つけて読んでくださっているかということ、それはなかなか難</p>

事務局	<p>しいかもしれません。大勢の中には、そういう方もいらっしゃるかと思います。学校として、先生方が色々に工夫をしてくださっていることは、前回の会議や今回の資料を見ますとかがうことができます。本好きな子どもが、1人でも多く育ってくれますように、心から願っています。では、今日はよろしく願います。</p> <p>2 第3次子ども読書活動推進計画進捗について これより議事に入ります。当会設置要綱第6条第1項の規定により、この後の進行は工藤委員長にお願いいたします。では、工藤委員長、よろしく願います。</p>																												
委員長	<p>それでは、本日の次第に沿って進めます。まず初めに、各指標の進捗状況について、資料をご覧ください、各課より補足の説明をお願いいたします。 まず最初に、①学校司書の配置の割合について、学校教育課、よろしく願います。</p>																												
学校教育課	<p>司書の配置についてですが、現状50%です。1人あたり2校を担当していただいています。図書館の整理はもちろん、授業で使う図書も選んでいただいていると聞いています。それが、子どもたちの読書率を上げることにつながっていると思います。今年度も司書活用として、年間計画を基にどのようなタイミングで活用していただくのが良いかということを検討して、実践していただいています。</p>																												
委員長	<p>では、次に②1か月に1冊以上本を読んだ子どもの割合について報告をお願いします。</p>																												
学校教育課	<p>小学校が93.4%、中学校が97%です。中学校の数値の増加については、朝読書はもちろんのこと、ビブリオバトルの実施など、色々な取組を行っていただいていることだと思います。小中学校については以上です。</p>																												
委員	<p>八幡商業高校66.3%、八幡高校34.4%、八幡工業高校97%、ヴォーリズ学園37.3%です。毎年、県から5月に調査がありまして、その結果の数値になります。県立学校3校、私立1校の数値です。</p>																												
委員長	<p>では、続いて生涯学習課をお願いします。</p>																												
生涯学習課	<p>③「家で10分以上の読書を継続している子どもの割合について」ですが、7月に提示させていただいた数値を再掲させていただきます。</p>																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全くしない</th> <th>10分より少ない</th> <th>10分以上 30分より少ない</th> <th>30分以上 1時間より少ない</th> <th>1時間以上 2時間より少ない</th> <th>2時間以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>657人 28.9%</td> <td>523人 23%</td> <td>555人 24.4%</td> <td>285人 12.5%</td> <td>155人 6.8%</td> <td>98人 4.3%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>309人 15.6%</td> <td>530人 26.7%</td> <td>806人 40.7%</td> <td>161人 8.1%</td> <td>122人 6.2%</td> <td>54人 2.7%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>966人 22.7%</td> <td>1053人 24.7%</td> <td>1361人 32.0%</td> <td>446人 10.5%</td> <td>277人 6.5%</td> <td>152人 3.6%</td> </tr> </tbody> </table>			全くしない	10分より少ない	10分以上 30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上	小学校	657人 28.9%	523人 23%	555人 24.4%	285人 12.5%	155人 6.8%	98人 4.3%	中学校	309人 15.6%	530人 26.7%	806人 40.7%	161人 8.1%	122人 6.2%	54人 2.7%	全体	966人 22.7%	1053人 24.7%	1361人 32.0%	446人 10.5%	277人 6.5%	152人 3.6%
	全くしない	10分より少ない	10分以上 30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上																							
小学校	657人 28.9%	523人 23%	555人 24.4%	285人 12.5%	155人 6.8%	98人 4.3%																							
中学校	309人 15.6%	530人 26.7%	806人 40.7%	161人 8.1%	122人 6.2%	54人 2.7%																							
全体	966人 22.7%	1053人 24.7%	1361人 32.0%	446人 10.5%	277人 6.5%	152人 3.6%																							
<p>高等学校からの報告にもありましたが、毎年6月頃に実施していただいている県の調査から算出している値です。次年度もおそらく同じ時期に同様の調査があり、その時点で新しいデータが出てくると思います。</p>																													

委員長	ありがとうございます。では、④「就学前施設での1人当たり年間貸出冊数」について、幼児課からお願いいたします。
幼児課	10月から新たに1園開園したことと、7月に回答の無かった園から回答がありまして、31園が貸出をおこなっています。
委員長	ありがとうございます。続いて、⑤「学校図書館での1人当たりの年間貸出冊数」について、学校教育課、お願いいたします。
学校教育課	4月から12月までの貸出冊数になりますが、小学校13.5冊で、中学校は3.3冊です。昨年度はこの時点で小学校昨年12.4冊、中学校は2.6冊でしたので、今年度は両方とも向上しています。これについても、司書活用の効果かと思えます。
委員長	ありがとうございます。では、⑥「図書館での児童書の1人当たりの年間貸出冊数」について、よろしくお願いいたします。
委員	図書館です。4月から12月までの集計で18冊です。
委員長	ありがとうございます。では、⑦「図書館と連携を実施している校園所の割合」について、幼児課、学校教育課、高等学校の順でお願いいたします。
幼児課	先ほどと同じで、7月に回答のなかった園からの回答があったので、割合としては78%と7月の数値よりは下がるのですが、昨年度は64%でしたので、徐々に上がってはいます。
学校教育課	続いて、学校教育課です。小中学校ともに移動図書館を活用していますし、POPコンクール等、学習成果物を近江八幡図書館に展示等していただいています。
委員長	高等学校はいかがですか。
委員	4校中2校が近江八幡図書館から団体貸出を受けているということで、夏以降割合が増えていないかを再度尋ねてみたのですが、割合についてはこのままです。
委員長	図書館については、大いに活用いただけると嬉しいです。では、⑧「読書活動に関わる研修の実施や研修への参加」についてです。顕著なもののみお答えいただきたいと思えます。
幼児課	資料にある通りです。 資料記述：全園所を回る『出前お話し会』での読み聞かせ、子どもの実態に合わせた研修
学校教育課	資料にある通り、学校図書館担当者会を2回開催しています。また、図書に関する研修会等に参加しています。
委員	4校とも滋賀県の「高等学校等教育研究会」という会がありまして、その中の「学校図書館研究会」主催の研修会に参加しています。
委員長	ありがとうございます。では、⑨「生涯学習課事業を活用した読書啓発の回数」はいかがですか。

生涯学習課	今年度は、資料にあります4回です。家庭教育の「子育てサロン」で大船めぐみさんを講師にお迎えした回に協力をさせていただきました。また、中央公民館講座でブックリストを配布して啓発を3回行いました。合計で4回となります。
委員長	ありがとうございました。では、⑩「読書啓発活動の実施」について、市立図書館からよろしくお願ひします。
委員	資料にある通りですが、それらに追加して3学期に移動図書館が行っていない小学校でブックトークを実施しました。
委員長	幼児課は、どうですか。
幼児課	資料にある通りです。 資料記述：各園所で絵本コーナーの設置、クラス便り・絵本便りの発行
委員長	学校教育課はいかがですか。
学校教育課	資料にありますPOPコンクールについて、今年度の応募総数は602点でした。昨年度を上回っています。また、富士宮市との児童交歓会で、富士宮市のことを調べる際に活用できる図書の展示を行いました。
委員長	生涯学習課は、いかがですか。
生涯学習課	夏に、国本清美さんを講師にお迎えして研修会を実施いたしました。
委員長	子育て政策課とこども家庭センターはどうですか。
事務局	その2つについては、私から報告いたします。別添の資料をご覧ください。こども家庭センターから、各センターでどのような活動をしていただいているか、そして子育て政策課からも活動の内容を記載したものを送付いただきました。

指標⑩ 読書啓発活動の実施（子ども家庭センター）		
【八幡子どもセンター】		
	回数	内容
例	1	職員対象読み聞かせの研修会の実施
■	1	図書館司書による来館者対象おはなし会の実施
■	常時	図書館ラッシュ・童話館グループラッシュの設置
■	常時	本紹介コーナーの設置
■	常時	子ども向け図書・保護者向け図書の設置
■	常時	本の貸し出し
■	常時	子ども向け図書・保護者向け図書の貸し出し
■	常時	センター常連時の読み聞かせ
【八幡子どもセンター】		
	回数	内容
例	1	職員対象読み聞かせの研修会の実施
□	0	子ども読書活動推進研修
■	常設	八幡図書館からのお便りラッシュを常設している。
■	常設	乳幼児の郵置（0歳～6歳）、小学生以上の郵置それぞれは、季節の絵本やその時期の関心が持てるような絵本を選んで、表紙が見やすいように並べて展示しやすくしておく。
■	常時	本紹介コーナーの設置
■	常時	本の貸し出し
■	21	体育館で選んだ後、読み聞かせを行っている。
【富士】		
	回数	内容
例	1	職員対象読み聞かせの研修会の実施
■	3	0歳児子育て教室や絵本を紹介したり、親子で絵本を見たりする。
□	0	通信やポスター等発行
■	随時	季節の絵本や児童書向けの本を募集、利用者のニーズにあった本を紹介したり、書出し表は数枚をよきよきしている。
■	随時	声書を通して、絵本や児童書向けの本の貸し出しを行っている。
■	12	毎月1回、アキオキアさんによる絵本の紹介し、親子への読み聞かせの「絵本のひろば」を開催している。

指標⑩ 読書啓発活動の実施（子育て政策課）		
・放課後児童クラブ 25施設での実施状況（数字は実施施設数）		
	回数	内容
例	1	職員対象読み聞かせの研修会の実施
□		子ども読書活動推進研修
□	3	図書館だよりの提示
□	5	児童のおすずの本の設置（図書館より借りた本の設置）
□	4	本の貸し出し
□	8	読み聞かせの実施 移動図書館より借来 毎日読書の時間を設ける

	どの場所でも、読み聞かせやポスターの掲示、通信の配布等で啓発をしていただいています。
委員長	ありがとうございます。では、⑩「読書活動充実に向けた取組回数」はいかがでしょうか。
幼児課	4月の子ども読書の日と、11月の市民読書月間に啓發文書を周知することにより、読書活動充実を図りました。
委員長	学校教育課はどうですか。
学校教育課	資料にある通りです。 資料記載：小学校、中学校の図書委員会で選書を実施
委員長	高等学校、お願いします。
委員	学校によって、いろいろ活発に取り組まれています。子どもの意見を取り入れた選書、リクエストについては、カウンターのところにリクエスト用紙が置いてあります。また、どの高等学校にも司書がいますので、子どもの意見を取り入れた選書については、十分に対応できていると思います。
委員長	ありがとうございます。では、市立図書館、お願いします。
委員	読書週間や子ども読書の日、宝探しゲームやビンゴゲームといった特別企画を行いました。子どもの意見を取り入れた選書については、随時図書館で受け付けています。市立図書館で買えなかった本についても、県内の図書館から借用するなどして対応しています。
委員長	ありがとうございました。ここままで、何か質問やご意見があればお願いします。
委員	1つよろしいでしょうか。⑥の図書館での年間貸出冊数がとても伸びていたのですが、その理由として考えられることは何でしょうか。
委員	月替わりのコーナー展示と、展示に合わせて今年はワークショップを毎回行うようにしています。
委員長	他にありませんか。無ければ、わたしから1ついいですか。 ⑩の「読書活動充実に向けた取組み回数」で、高等学校は4校とも2回以上の実施とありますが、具体的にはどのようなことをされたのですか。八幡高校の例で良いので教えてください。
委員	全国の読書週間の開始にあわせて、2週間「校内読書週間」を実施しています。今年度は5冊借りると景品がもらえる読書マラソンを実施したりしました。
委員長	ありがとうございます。では、次の議事に入ります。今年度の取組について、事務局よりお願いします。
事務局	4月、7月、11月に重点的に読書推進の取組をすすめてまいりました。4月の「子ども読書の日」の市民向けのLINE配信を利用し啓発活動を実施しました。夏休み前には、長期休業中に読書の機会が増えるよう、小・中学校の子どもに向けて、近江八幡図書館に選書のご協力をいただいて作成した「家読ポスター」を、図書室や

	<p>各教室に掲示していただきました。また、子どもたちの手元にも届けました。</p> <p>11月の「市民読書月間」にも同様にポスターを作成し、さらには各校の先生方に協力いただいて、子どもたちのタブレット端末に配信をいただきました。なお、各校の図書室や各教室には、実物を掲示もしていただきました。また、近江八幡市のLINEに、小中学生向けのポスターに就学前の子どもたちに向けたポスターを加えて配信し、さらに幼児課協力のもと、キッズビューというアプリでも配信をしていただきました。学校教育課では、読書月間に合わせて本のPOPコンクールを実施されました。以上、報告を終わります。</p>
委員長	<p>今の事務局からの報告に関して、何か質問やご意見はありませんか。無ければ私から。POPコンクールはどのようなものですか。</p>
学校教育課	<p>市内の小学校と中学校で毎年取り組んでいただいているもので、子どもたちが本を読んで、書店で見るようなPOP、イラストと文字で本の紹介をするものです。紹介の中でも、「この本を読みたい」と思わせる見どころを1つのカードにまとめるというものです。</p>
委員長	<p>図書館で今月行っているものですか。</p>
委員	<p>はい、そうです。</p>
委員長	<p>では、現場の子どもたちのことを、少し伺ってもいいですか。中学校はいかがでしょう。</p>
委員	<p>スマホなどの良さも認めつつ、どうやって子ども達を読書に向かわせていくのか。そのためには、読書の良さをアピールしていかないといけないと思います。朝読書を充実させるにしても朝読書に取り組まない子どももいますし、その子たちをどうやって読書に取り組ませるか考えた中で、全校巻き込んでビブリオバトルをやってみようかということで、これで3年目になります。今後は、市内の中学校全部でやっていこうとするために、図書館教育研究会の取組として、市内の学校に普及するように図っていきたいと考えています。今年、そこに協力いただいたのがライオンズクラブです。資金等様々な面で協力いただきました。最終的に、ビブリオバトルで選ばれた本を各学校に寄贈もしていただき、読みたいと思った本がすぐ手に入るという行き届いた支援をしていただきました。ライオンズクラブとお話をさせていただく中では、今後、八幡東中学校をはじめとして各学校に呼びかけ、順番に開催できれば良いなと思っています。たちまち来年は、もう1度八幡東中学校で開催しまして、そこには各学校から選ばれた代表の生徒に来てもらってビブリオバトルを行いたいと考えています。それ以降は、近江兄弟社も含めて5年ぐらいの計画で回していければと思います。その活動を通して、子どもたちが少しでも本を読みたいと思ってくれればと考えています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。今年度、全中学校ビブリオバトルをなさっておられるのですね。</p>
委員	<p>各中学校で、それぞれに取り組んでいただいていると思います。それを市の中で1つのイベントにしたいと思っています。</p>
委員	<p>そのことに関わって、子どもが安土中学校に通ってしまっていて、今年度12月頃にビブリオバトルをしたと聞いています。クラスの代表が出て、学年の代表が出てと、非常に盛り上がって大変良かったそうです。</p>

委員長	ありがとうございます。小学校はいかがですか。
委員	<p>各校で、それぞれ取組があると思いますが、子どもたちを読書につなげるために学校だけでなくいろいろな方のお力を借りています。例えば、市立図書館は高学年にブックトークをしていただきました。子どもたちではなかなか手に取らないだろう本を選んで行っていただいたので、非常に良かったです。また、図書館に足が向くように「図書館祭り」というものを行っています。教員だけではなく、図書委員会、図書ボランティア、学校司書それぞれが関わって役割分担をして実施しているものです。本にかかわるクイズを解いてスタンプを集め、ゴールの図書館でしおりをもらうというもので、なかなか図書室に足が向かない子も来やすいように行っています。</p> <p>また、金田小学校で言いますと、「書く力」が子どもたちの課題として出ています。その力をつけるために、例えば1年生では「お話づくりをしよう」という取組をしています。その中で、子どもたちは先生の読み聞かせで浴びるように昔話に触れたり、ブックトラックに昔話の本をたくさん用意しておいて、読んだものに丸をつけていきます。そうしてたくさんインプットをした子どもたちが、どんなお話を作るかというものです。登場人物と結末を決め、結末までにどんな出来事が起こるかを子どもたちで交流して1つの本に仕上げるとい取組をしています。</p> <p>それから、学校図書館が非常に恵まれた環境にあるのですが、より居心地の良い場所になるように、図書館ボランティアに季節ごとの飾りつけをしていただいたり、学校司書にちょっとしたビンゴなど様々な取組をしていただいて、本に触れたい子どもにはもちろん、そうでない子どもにとっても居心地の良い場所になるようにしていただいています。</p>
委員長	ということは、長休みに図書館に行く子どもなんかもいるのですね。
委員	はい、そうです。
委員長	ありがとうございます。幼稚園の様子は分かりますか。
幼児課	私がこれまでに見た園の様子ですと、最初に委員長がおっしゃった「身近に良い本があること」と「それを読んでくれる大人がいること」は、就学前の子どもたちにとって本当に大切なことで、小中学校での読書活動に向けての土台作りになっています。「読んでもらうことが嬉しい、楽しい」、「本が好き」と子どもたちが思えることが就学前の役割だと思うので、園にある本を使うことはもちろんですが、それだけでは足りなくて、職員自身がいろいろな本を知らないといけないので、図書館に自分で行って本を借りてきて読むということをしています。
委員長	ありがとうございます。では、次の協議事項に移ります。令和8年4月23日子ども読書の日に向けての取組について、事務局より提案をお願いします。
事務局	4月23日子ども読書の日に向けては、文部科学省からのポスター掲示依頼と就学前の保護者向けにブックスタートで配布している家読チラシを配布したいと考えています。ポスターについては、子ども読書の日の啓発文を添えて、各校のホームページに掲載いただけるよう依頼することを考えています。また、4月23日に市のLINEを利用して「子ども読書の日」の周知を考えています。
委員長	ただ今の提案について、質問や意見はありませんか。 無いようですね。では、提案の内容で準備をお願いします。 最後の協議事項に入ります。令和8年度子ども読書推進活動に係る研修会につい

事務局	<p>て、事務局より提案をお願いします。</p> <p>夏休みに子どもの読書活動に関わる方々にお集まりいただき、研修会の実施を検討しています。市内図書館教育担当者、読書ボランティアなど、近江八幡の子ども読書に関わる方々に広くご参加いただきたいと思います。目的は、普段子どものそばにいらっしゃる方々に読書の大切さや読書活動のすすめ、子どもたちに本を届けるための様々なスキルを学んでいただくことです。</p> <p>まず、その研修会の持ち方について協議いただきたいと思います。昨年度の推進委員会の中で、年1回の開催ではなく、連続講座の研修にするのはどうかという意見があったと聞いています。例えば、第1回の研修では「本の選び方」について学んでいただき、第2回では「本の読み方」について学んでいただく。そして第3回では研修に参加いただいている方に実際に本を読んでいただき、それに対してフィードバックを行うといったやり方です。そうした方が、子どもたちに本を届ける方のスキルの向上が期待できるのではないかと考えます。そこで次年度、今年度同様に夏に1回講師を招いて行うのが良いか、年3回の連続講座にするのが良いか、どちらの研修会の持ち方がよいか、ご意見を頂戴したいと思います。</p>
委員長	<p>2つの方向を提案いただきましたが、いかがですか。</p>
委員	<p>ボランティアをしている者として、意見を述べさせていただきます。年3回の連続講座という案ですと、人前で絵本を読むことに少し躊躇されている方は、そういう研修会があると「すごく良いな」と思われるでしょう。しかし、ボランティアの人数がとても少なくなっています。例えば安土に関しては、登録は25人ほどいるのですが実際に動いているのは10人弱です。その方たちも毎回動ける訳ではありません。各々仕事を持ちながらしているのがほとんどです。一昨年ぐらいまでは毎週お話し会を朝にさせていただいていたのですが、ボランティアの人数が集まらないので、今は2週間に1回2学年ずつというのがギリギリの状態です。研修会にはできるだけたくさんの方に集まっていただきたいと思いますので、年3回で実施されるのであれば、開催の時間帯や期間、時期をよく検討していただきたいと思います。幼稚園に子どもさんを通わせておられるような世代のボランティアを掘り起こしたいと考えるのであれば、子どもさんが幼稚園に通われていて動きやすい平日の午前中に短い時間で実施するような形が良いと思います。もしくは、仕事をしていても参加ができる土日に集中して3回実施するような形を検討ください。</p>
委員長	<p>ということは、2つの案の中では、3回連続での実施の方が良いと思われるということですね。</p>
委員	<p>できれば両方あるのが良いと思います。年1回はアドバンス的な感じとか、ボランティアをしたいと思う方でなくても、読書に興味のある市民全体の底上げという意味で、年に1回だけでも参加できる研修会を開催する。それにプラスして年3回の研修があると、読書にかかわる者としてはとてもありがたいです。</p>
委員長	<p>それが理想ですが、予算の都合もあるようです。</p>
委員	<p>では、連続3回のうち1回を連続して来られる方以上に広く募集するのはどうでしょう。</p>
委員長	<p>他の方はどうですか。</p>
委員	<p>基本的なことを伺いますが、研修会はどういう人が対象になりますか。</p>

事務局	読書にかかわる方全てが対象ですので、市民や子どもの保護者、就学前と小学校・中学校の教職員、担当者など、今年度と同じ範囲を対象と考えています。
委員	この研修会のテーマ・目的は、「読み聞かせのスキル向上」ということになるのですか。
事務局	先ほど私がそのことを例として挙げたために、そういう内容での3回連続研修というイメージになってしまったのだと思います。ただ、3回連続の研修となると、その例のようにある程度テーマが絞られてしまうことにはなるかと思えます。 年1回の研修であれば、レジュメに書かせていただいている今年度の研修会参加者からの要望からテーマを選んで決定させていただき、そのテーマにあった講師を選定するという流れになります。
委員	教員の立場で言うと、夏1回の開催の方が参加はしやすいと思います。3回連続だと、参加される方のニーズに合うかどうかには左右されるのではないのでしょうか。
委員	私も、教員の立場では、夏休みが参加しやすいと思います。でも、お子さんが小さい保護者は、夏休みは出にくいですね。
委員長	確かに難しいと思います。本当に両方の講座があったら何よりですが。来年度の予算はどうなっていますか。
事務局	今年度と同額です。仰るように、両方の講座があると良いのですが、次年度は難しいです。ここまでのご意見をまとめますと、両方の講座ができることを今後目指しつつ、来年度については今年度と同様の開催の方が多くの方に参加をいただけそうかどうかでしょうか。
委員	夏休みに1回の開催ということですね。
事務局	はい。それで計画を進めさせてさせていただきます。
委員長	それでは、研修の内容についてはどうでしょうか。
事務局	先ほどお伝えしたように、本日のレジュメに今年度の研修を受講された方から頂戴した次年度研修内容に関する意見を書かせていただいています。それを参考にさせていただき、次年度の研修内容について各委員の皆様のご意見を頂戴したいと思います。
委員長	その意見を見てもみると、「絵本から児童書への接続が難しい」という意見が何点か書かれていますね。私は長い間読書ボランティアをしていますが、幼児の本から児童書へどうやってつなぐと良いのか。それがとても難しい。児童書を読んでもくれるようになれば、その後の本も自然と選択して読むようになっていくのですが。その点を考慮して講師を選んでいただけるとありがたいと思います。他の方はいかがでしょう。
委員	図書館では、子どもたちの「読書の質」ということが気になっています。「コナン」や「おしりたんてい」といった本がよく動いているのですが、こちらとしてはそれら以外の本も手に取ってもらいたいと思っています。

委員長	他はよろしいですか。
事務局	ここまでの意見をまとめさせていただくと、児童書への接続をどうすればよいか。それから、こちらが読んで欲しいと思う本に子どもたちが手を伸ばしてくれるにはどうすればよいかということに助言をいただけると良いということですね。
委員	研修会に参加されるのが、小学校・中学校の先生だけではないとするなら、児童書だけでなく、読書離れの状況にある子どもたちをどうやって本に惹きつけるのかというところまで範囲を広げていただきたい。
事務局	分かりました。その方向で講師を選定いたします。
委員長	これで今回の議題は全て終了しましたが、高等学校から1つ報告を伺います。
委員	資料を用意いたしましたのでご覧ください。「高校司書の推し本」という取組です。近江八幡市内の4校が所属します「滋賀県高等学校等教育研究会」に「学校図書館研究部会司書部」という部会があります。司書部の部会は5つのブロックに分かれているのですが、湖東地区の学校が10校ありまして、そこが主体となって「生徒に勧めたい本」ということで、昨年度から取組を始めまして今年で2年目になります。資料のパンフレットは、PDFで配信しています。河瀬高校も研究校の1つに入っているのですが、河瀬高校のホームページからも見ていただくことができます。湖東地区の10校以外にも、県内の高校でこの部会に入っている司書が有志で参加してくれていて、推薦本を募り、「本屋大賞」のように2回投票をしてランキングをつけて、この2月に2025年の1位から10位とマンガ部門3冊、司書からのコメントに熱量があった3冊をあわせた16冊が載ったパンフレットを作成しました。ご覧いただけましたら幸いです。
委員長	ありがとうございました。それでは、これで議題は全て済みしましたので、ここで私の任を解かせていただけてよろしいですか。ありがとうございました。
事務局	8 閉会 みなさま、本日はお忙しい中ありがとうございました。頂戴したご意見をもとに次年度の準備を進めてまいります。本日はありがとうございました。